

平成28年度 土曜日の授業等に係る実施状況の調査結果

1 調査の目的

県内における土曜日の授業等の成果や課題等を把握し、市町等教育委員会及び学校における土曜日等を有効に活用した教育活動の一層の充実に資することを目的に調査を実施しました。

2 調査の実施

「公立小・中学校における土曜日の授業について」（平成26年2月26日付け教委第05-179号）に基づき、市町等教育委員会及び小中学校の取組状況及び予定を調査しました。また、本年度も、土曜授業推進事業実践校の児童生徒及び保護者対象にアンケート調査を実施しました。

3 調査の対象

（市町等教育委員会調査）

- ・ 県内の市町教育委員会…………… 29教育委員会

（学校調査）※学校長による回答

- ・ 公立小学校…………… 371校
- ・ 公立中学校…………… 157校

（児童生徒及び保護者アンケート調査）

- ・ 国・県事業 土曜授業推進事業実践校（2市町：鈴鹿市、御浜町）
 - 小学校…………… 7校（児童1,388人、保護者1,233人）
 - 中学校…………… 4校（生徒 673人、保護者 640人）

4 調査の時点

平成29年2月

5 調査結果のポイント

市町等教育委員会調査結果の概要

【平成28年度の状況】

(1) 所管の学校での土曜日の授業の実施

実施回数	実施週 (原則)	市町数	市町名
月1回程度 ※年間8回以上 又は8回程度	第4週	8	桑名市、木曾岬町、いなべ市、東員町、 四日市市、菰野町、朝日町、川越町(小学校)
	第3週	10	鈴鹿市、津市、松阪市、玉城町、伊勢市、 伊賀市、名張市、熊野市、御浜町、紀宝町
年間7回程度	第3週	1	亀山市
年間6回程度		8	川越町(中学校)、多気町(小学校)、大台町、 大紀町、南伊勢町、度会町、尾鷲市、紀北町
年間5回程度		4	多気町(中学校)、明和町、鳥羽市、志摩市

※平成27年度から実施回数を変更した市町数

月1回程度 → 年間6回程度(3)

年間6回程度 → 年間5回程度(1)

年間5回程度 → 年間6回程度(1)

(2) 広報やリーフレット等を活用するなど、保護者や地域に対しての趣旨や意義の説明

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
趣旨や意義を説明し理解を得た	86.4%	79.3%	79.3%
説明したが理解を得るまでには至っていない	13.6%	6.9%	3.5%
説明しなかった	なし	13.8%	17.2%

※これまでの市町による説明で一定定着が図られたことや学校が周知を図っていること等から、特段の周知を行わない市町が一定数あります。

(3) 地域行事、社会教育団体及びスポーツ関係団体との調整

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
調整できた	31.8%	51.7%	48.3%
理解を得たが調整は難しかった	63.6%	48.3%	51.7%
理解が得られなかった	なし	なし	なし
具体的な調整はできなかった	4.6%	なし	なし

※調整できなかった市町はないものの、今後とも、適切な時期に関係団体との調整を図る必要があります。

(4) 土曜日の授業の実施日の市町内での統一

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
統一して実施	27.3%	51.7%	37.9%
一部を除き統一して実施	22.7%	34.5%	55.2%
学校の判断で実施	50.0%	13.8%	6.9%

(5) 土曜日の授業の成果や課題を把握するための関係者による委員会等の設置

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
設置した	45.5%	31.0%	31.0%
設置しなかった	54.5%	69.0%	69.0%

※市町の状況に応じ、関係者による委員会を設置するなど、土曜日の授業について意見交換する機会を持つことが望まれます。

(6) 土曜日等を活用して、家庭での学習が何らかの理由で困難な児童生徒への学習機会の保障を図るための取組（複数選択）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度（予定）
土曜の課外授業	10.3%	17.2%	20.7%	17.2%
土曜学習	55.2%	51.7%	44.8%	44.8%

【平成 29 年度の予定】

(7) 平成 29 年度の土曜日の授業の実施日等を、ホームページ、広報、リーフレット等で保護者や地域の方に周知しましたか。（予定も含む）

保護者や地域の方への周知	
教育委員会から周知した	13.8%
学校から周知した	40.0%
教育委員会と学校から周知した	55.2%
周知の予定なし	0%

(8) 平成29年度の土曜日の授業実施予定（地域や学校の実情に応じて、変更される場合があります。）

実施回数	実施週	市町数	市町名
月1回程度 ※年間8回以上 又は8回程度	第3週	17	桑名市、木曾岬町、いなべ市、東員町、四日市市、菰野町、朝日町、川越町（小学校）、鈴鹿市、松阪市、玉城町、伊勢市、伊賀市、名張市、熊野市、御浜町、紀宝町
年間6回程度		8	川越町（中学校）、津市、大台町、大紀町、南伊勢町、度会町、尾鷲市、紀北町
年間5回程度		2	鳥羽市、志摩市
年間4回程度		1	多気町
年間3回程度		2	亀山市、明和町

※平成28年度から実施回数を変更する予定である市町数（平成29年2月現在）

月1回程度 → 年間6回程度（1）

年間7回程度 → 年間3回程度（1）

年間5回程度 → 年間3回程度（1）

年間6回程度〔小〕、年間5回程度〔中〕 → 年間4回程度〔小中学校で統一〕（1）

学校調査結果の概要

(9) 土曜日の授業の実施

選択肢	小学校			中学校			合計		
	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
土曜日の授業の実施	70.9%	99.7%	99.7%	72.3%	99.4%	99.4%	71.3%	99.6%	99.6%
土曜日の授業の未実施	29.1%	0.3%	0.3%	27.7%	0.6%	0.6%	28.7%	0.4%	0.4%

(10) -① 土曜日の授業の内容（複数選択）

※主なもののみ記載

授業内容	小学校			授業内容	中学校		
	H26	H27	H28		H26	H27	H28
学力の向上	84.3%	84.3%	98.1%	学力の向上	86.1%	93.6%	93.0%
体力の向上	23.5%	51.1%	76.8%	体力の向上	5.2%	28.7%	54.5%
伝統、文化的な行事	45.9%	45.9%	71.1%	伝統、文化的な行事	29.6%	38.9%	48.7%
道徳の時間	41.4%	47.9%	60.3%	道徳の時間	27.8%	33.8%	43.6%
防災学習、防災訓練	34.0%	50.8%	56.5%	防災学習、防災訓練	15.7%	26.1%	35.3%
補充学習	—	32.6%	34.6%	補充学習	—	29.3%	34.6%
発展学習	—	20.6%	29.7%	キャリア教育	15.7%	27.4%	34.6%
自然体験的行事	10.8%	22.2%	25.4%				
図書館資料の活用	10.1%	22.7%	23.5%				

(10) -② 内容別平均実施日数（複数選択）

※主なもののみ記載

授業内容	小学校	授業内容	中学校
学力の向上	4.9 日	学力の向上	4.4 日
補充学習	1.4 日	補充学習	1.2 日
体力の向上	1.3 日	外国語教育	1.0 日
伝統、文化的な行事	1.1 日	体力の向上	1.0 日
道徳の時間	1.0 日	伝統、文化的な行事	0.7 日
発展学習	0.9 日	道徳の時間	0.7 日
防災学習、防災訓練	0.7 日	発展学習	0.5 日
図書館資料の活用	0.7 日	キャリア教育	0.5 日
		防災学習、防災訓練	0.5 日

※平均実施日数は、各授業内容の実施日数の合計を土曜授業の実施校数（小学校 370 校、中学校 156 校）で割った数

(11) 土曜日の授業の実施方法（複数選択）

選択肢	小学校			中学校		
	H26	H27	H28	H26	H27	H28
① 通常の授業 (家庭、地域住民等への公開はせず)	64.9%	84.2%	88.4%	67.8%	76.4%	77.6%
② 家庭、地域住民等への公開授業	78.0%	84.8%	89.7%	65.2%	74.5%	85.3%
③ 家庭、地域住民、大学、企業等との 連携協力による授業	39.6%	52.7%	65.7%	29.6%	43.3%	61.5%

(12) 上記(11)③の連携協力の相手（複数選択）

小学校	H26	H27	H28	中学校	H26	H27	H28
保護者	67.0%	79.2%	77.8%	保護者	32.4%	57.3%	50.6%
自治会関係者	50.0%	61.4%	66.3%	自治会関係者	23.5%	42.6%	46.1%
C S等の関係者	20.8%	16.8%	24.7%	企業関係者	38.2%	25.0%	27.0%
企業関係者	13.2%	13.2%	11.9%	C S等の関係者	8.8%	10.3%	20.2%
元教員	8.5%	4.1%	9.5%	大学等の教員	8.8%	8.8%	12.4%
大学等の教員	6.6%	10.2%	6.2%	高校生	17.6%	10.3%	10.1%
大学等の学生	4.7%	4.5%	5.8%	元教員	5.9%	2.9%	9.0%
高校生	1.0%	4.5%	5.8%	大学等の学生	11.8%	5.9%	9.0%
卒業生	2.8%	6.6%	4.5%	卒業生	14.8%	2.9%	5.6%

※C S…コミュニティ・スクール

(13) 土曜日の授業の実施に伴う平日の授業の扱い

選択肢	小学校			中学校		
	H26	H27	H28	H26	H27	H28
平日の授業はそのままにして土曜日の授業を実施	71.6%	85.0%	91.1%	87.0%	83.3%	93.6%
週時程の平準化を一部図って土曜日の授業を実施	28.4%	15.0%	12.7%	13.0%	16.7%	14.7%

(14) 土曜日の授業を一部の学年のみで実施

選択肢	小学校			中学校		
	H26	H27	H28	H26	H27	H28
一部の学年のみで実施	1.5%	3.5%	7.0%	3.5%	13.4%	14.1%
全学年で実施	98.5%	96.5%	93.2%	96.5%	86.6%	84.0%

※土曜日の授業を一部の学年のみで実施している学校は、小中学校ともに増加傾向にあります。

(15) 土曜日の登下校の安全確保に対する対策（複数選択）

選択肢	小学校			中学校		
	H26	H27	H28	H26	H27	H28
① 保護者や地域の見守隊等に依頼	56.7%	62.6%	71.1%	7.0%	9.6%	13.5%
② 教職員が登下校の指導	22.0%	25.9%	26.5%	39.1%	40.8%	50.0%
③ 青色パトロールカー等による巡回 (教育委員会等による巡回も含む)	4.9%	4.5%	4.1%	4.3%	1.3%	1.9%

(16) 土曜日の授業に対する児童生徒の様子、保護者、教職員の考え（※職員会議や PTA 役員会等で、土曜日の授業等について話し合われた内容を参考にするなど、教職員や保護者の考えをもとに、学校長が回答）

①児童生徒の様子

設問項目	選択肢	小学校			中学校		
		H26	H27	H28	H26	H27	H28
(ア) 友達と一緒に過ごせるので、嬉しいと思う児童生徒が多い。	当てはまる	4.1%	8.8%	6.5%	3.5%	3.2%	9.6%
	どちらかと言えば当てはまる	38.4%	46.3%	52.4%	19.1%	36.9%	32.7%
	どちらかと言えば当てはまらない	42.9%	38.8%	37.3%	41.7%	47.1%	48.7%
	当てはまらない	12.7%	4.5%	3.8%	30.4%	12.1%	9.0%
	無回答	1.9%	1.6%	0.0%	5.2%	0.7%	0.0%
(イ) 特に平日の授業と変わった様子はない。	当てはまる	33.6%	14.4%	8.4%	38.3%	19.7%	19.9%
	どちらかと言えば当てはまる	50.0%	50.3%	52.7%	42.6%	51.6%	49.4%
	どちらかと言えば当てはまらない	11.9%	27.0%	32.2%	12.2%	22.9%	26.9%
	当てはまらない	4.1%	6.4%	6.8%	5.2%	5.7%	3.8%
	無回答	0.4%	1.9%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%
(ウ) 平日の授業と違った学習内容があってよい。	当てはまる	—	8.8%	6.0%	—	3.2%	7.7%
	どちらかと言えば当てはまる	—	37.4%	45.4%	—	43.9%	45.8%
	どちらかと言えば当てはまらない	—	43.9%	40.3%	—	38.2%	36.8%
	当てはまらない	—	8.3%	8.4%	—	14.0%	9.7%
	無回答	—	1.6%	0.0%	—	0.7%	0.0%
(エ) 習い事や部活動などの時間と重なるので困る児童生徒が多い。	当てはまる	16.0%	12.0%	11.9%	25.2%	21.7%	14.1%
	どちらかと言えば当てはまる	45.9%	39.0%	41.1%	46.1%	42.0%	48.1%
	どちらかと言えば当てはまらない	32.8%	39.3%	40.3%	22.6%	28.7%	30.1%
	当てはまらない	3.4%	8.0%	6.8%	4.3%	7.0%	7.7%
	無回答	1.9%	1.7%	0.0%	1.7%	0.6%	0.0%
(オ) 疲れるので土曜日の授業はない方がよいと考える児童生徒が多い。	当てはまる	22.0%	24.1%	27.8%	38.3%	35.7%	34.0%
	どちらかと言えば当てはまる	49.3%	48.4%	51.9%	42.6%	45.9%	50.0%
	どちらかと言えば当てはまらない	23.9%	21.7%	18.7%	15.7%	14.0%	14.7%
	当てはまらない	3.0%	4.3%	1.6%	1.7%	3.8%	1.3%
	無回答	1.9%	1.5%	0.0%	1.7%	0.6%	0.0%

②保護者の考え

設問項目	選択肢	小学校			中学校		
		H26	H27	H28	H26	H27	H28
(ア) 土曜日の授業をもっと充実してほしいと考える保護者が多い。	当てはまる	——	3.5%	2.7%	——	4.5%	3.2%
	どちらかと言えば当てはまる	——	40.4%	41.0%	——	45.2%	50.6%
	どちらかと言えば当てはまらない	——	48.9%	51.4%	——	38.2%	42.3%
	当てはまらない	——	4.3%	4.9%	——	10.2%	3.8%
	無回答	——	2.9%	0.0%	——	1.9%	0.0%
(イ) 今後も継続して進めてほしいと考える保護者が多い。	当てはまる	18.7%	6.1%	5.4%	24.3%	5.7%	6.4%
	どちらかと言えば当てはまる	44.4%	49.5%	53.0%	40.0%	51.0%	55.1%
	どちらかと言えば当てはまらない	29.5%	38.2%	37.5%	24.3%	35.0%	35.3%
	当てはまらない	1.5%	3.5%	4.1%	7.0%	6.4%	3.2%
	無回答	6.0%	2.7%	0.0%	4.3%	1.9%	0.0%
(ウ) 学習機会が保障されることで、有意義に過ごせると考える保護者が多い。	当てはまる	4.5%	4.0%	3.8%	2.6%	3.2%	3.8%
	どちらかと言えば当てはまる	61.9%	57.2%	53.0%	62.6%	53.5%	56.4%
	どちらかと言えば当てはまらない	26.9%	34.2%	38.6%	27.0%	36.3%	35.3%
	当てはまらない	1.9%	1.9%	4.6%	3.5%	5.1%	4.5%
	無回答	4.9%	2.7%	0.0%	4.3%	1.9%	0.0%
(エ) 保護者の参加や地域の協力が得やすくてよい。	当てはまる	——	——	7.9%	——	——	7.7%
	どちらかと言えば当てはまる	——	——	58.3%	——	——	46.5%
	どちらかと言えば当てはまらない	——	——	28.3%	——	——	37.4%
	当てはまらない	——	——	5.5%	——	——	8.4%
	無回答	——	——	0.0%	——	——	0.0%
(オ) 実施するに当たり、説明が不十分であったと感じている保護者が多い。	当てはまる	4.1%	1.3%	1.9%	6.1%	0.6%	1.3%
	どちらかと言えば当てはまる	26.5%	16.6%	12.0%	22.6%	19.1%	15.5%
	どちらかと言えば当てはまらない	36.6%	52.1%	60.9%	33.0%	49.7%	53.6%
	当てはまらない	27.2%	27.0%	25.3%	33.9%	28.7%	29.7%
	無回答	5.6%	3.0%	0.0%	4.3%	1.9%	0.0%
(カ) 土曜日の授業をする必要はないと思っている保護者が多い。	当てはまる	1.5%	2.7%	3.5%	7.0%	5.1%	3.8%
	どちらかと言えば当てはまる	22.8%	25.1%	28.9%	17.4%	29.3%	28.9%
	どちらかと言えば当てはまらない	48.5%	57.5%	57.8%	48.7%	50.3%	59.6%
	当てはまらない	21.3%	11.8%	9.8%	22.6%	13.4%	7.7%
	無回答	6.0%	2.9%	0.0%	4.3%	1.9%	0.0%

③教職員の考え

設問項目	選択肢	小学校			中学校		
		H26	H27	H28	H26	H27	H28
(ア)土曜日の授業をもっと充実する方がよい。	当てはまる	——	1.1%	0.5%	——	1.3%	1.3%
	どちらかと言えば当てはまる	——	16.3%	11.6%	——	14.6%	9.6%
	どちらかと言えば当てはまらない	——	53.2%	48.7%	——	52.9%	52.6%
	当てはまらない	——	28.3%	39.2%	——	30.6%	36.5%
	無回答	——	1.1%	0.0%	——	0.6%	0.0%
(イ)今後も継続して実施する方がよい。	当てはまる	0.0%	1.6%	0.3%	0.0%	1.3%	1.3%
	どちらかと言えば当てはまる	11.6%	11.8%	11.1%	11.3%	13.4%	7.7%
	どちらかと言えば当てはまらない	56.0%	53.5%	45.1%	56.5%	46.5%	55.5%
	当てはまらない	27.2%	32.4%	43.5%	30.4%	38.2%	35.5%
	無回答	5.2%	0.7%	0.0%	1.7%	0.6%	0.0%
(ウ)家庭での学習が何らかの理由で困難な児童生徒への学習機会の保障として有効である。	当てはまる	2.2%	3.2%	2.4%	1.7%	3.8%	2.6%
	どちらかと言えば当てはまる	41.0%	34.2%	31.4%	47.0%	36.3%	33.3%
	どちらかと言えば当てはまらない	38.8%	45.7%	46.0%	32.2%	42.0%	46.2%
	当てはまらない	16.4%	15.8%	20.3%	17.4%	17.2%	18.0%
	無回答	1.5%	1.1%	0.0%	1.7%	0.7%	0.0%
(エ)地域とともにある学校づくりにつながる。	当てはまる	——	13.4%	9.5%	——	12.7%	5.8%
	どちらかと言えば当てはまる	——	60.2%	52.7%	——	58.0%	58.3%
	どちらかと言えば当てはまらない	——	19.3%	27.8%	——	19.1%	30.8%
	当てはまらない	——	6.4%	10.0%	——	9.6%	5.1%
	無回答	——	0.8%	0.0%	——	0.6%	0.0%
(オ)土曜日を活用すれば、平日の負担を減らすことができる。	当てはまる	1.5%	1.3%	0.8%	0.9%	0.0%	0.6%
	どちらかと言えば当てはまる	15.7%	12.6%	11.4%	13.9%	12.1%	11.5%
	どちらかと言えば当てはまらない	32.1%	37.4%	33.0%	25.2%	32.5%	36.5%
	当てはまらない	49.6%	47.6%	54.9%	58.3%	54.8%	51.3%
	無回答	1.1%	1.1%	0.0%	1.7%	0.6%	0.0%
(カ)必要性を感じない。	当てはまる	33.6%	30.5%	40.5%	26.1%	34.3%	36.5%
	どちらかと言えば当てはまる	48.5%	46.0%	38.1%	56.5%	41.4%	45.5%
	どちらかと言えば当てはまらない	13.8%	18.5%	18.4%	13.0%	20.4%	15.4%
	当てはまらない	2.2%	4.3%	3.0%	2.6%	3.2%	2.6%
	無回答	1.9%	0.7%	0.0%	1.7%	0.7%	0.0%

(17) 土曜日の授業の振替状況

<平成28年度の振替状況>

【小中学校の同一週に振替えた人の割合（校種別・学級数別）】

種 校	小学校				中学校				総計
	6学級以下	7学級以上 26学級以下	27学級以上	計	3学級以下	4学級以上 17学級以下	18学級以上	計	
学校数	53	298	20	371	15	112	29	156	527
割合	4.1%	4.8%	3.2%	4.6%	3.4%	4.4%	3.2%	4.0%	4.4%
昨年度との比較	0.0	1.2	-0.6	0.9	-0.1	2.0	0.1	1.4	1.1

【小中学校の同一週に振替えた人の割合（校種別・学期別）】

種 校	小学校				中学校				総計
	1学期	2学期	3学期	計	1学期	2学期	3学期	計	
延べ実施回数	956	1,062	665	2,683	352	455	246	1,053	3,736
割合	4.2%	6.1%	2.5%	4.6%	4.4%	4.8%	2.2%	4.0%	4.4%

【小中学校の同一週に振替えた学校の割合（校種別・振替率別）】

校種	小学校				中学校			
	0%	0~10%	10~20%	20%~	0%	0~10%	10~20%	20%~
学校数	227	84	29	30	55	78	11	11
割合	61.4%	22.7%	7.8%	8.1%	35.5%	50.3%	7.1%	7.1%
昨年度との比較	-13.7	6.1	5.4	2.2	-12.9	7.0	0.7	5.2

<同一週に振替を行った小中学校の主な取組内容>

① 小学校

- 同一週の午後の授業を振替
- 年間計画で早めに振替予定日を明らかにして、出張が入らないかぎり振替を確保
- 全校一斉退校日を月1回設定、学年ごとに設定する学年退校日を設定
- 同一週に学校行事や全員参加の研修会を計画しない
- 同一週に学級活動の時間を計画せず、早い下校時間に設定
- 安全衛生委員会で協議をし、振替可能日の設定
- ある曜日を早く放課にして、振替可能日の設定

② 中学校

- 振替取得推進用紙の事前回覧及び記入により計画的な振替取得促進

- 振替をとりやすくするようテスト期間に土曜日の授業を設定し、テスト1日目の午後には会議を入れない
- 同一週で、1日部活動を短縮または休止
- 9月はじめに土曜日の授業を設定し、夏季休業を同一週に含める
- 毎週月曜日の完全下校時間を17時に設定
- 教務が振替の希望をとり、時間割を調整
- 教務が振替を行いやすいように、時間割を工夫
- 同一週には会議を行わない
- ある曜日を「ノー部活デー」に設定
- ある曜日を「ノー残業デー」に設定

児童生徒アンケート結果の概要（※土曜授業推進事業実践推進校対象に実施）

(18) 土曜日の授業についてどう思うか。（複数選択）

	小学校		中学校	
	H27	H28	H27	H28
(ア) 土曜日でも友達と過ごせるのでうれしい。	52.4%	56.8%	27.0%	23.6%
(イ) 平日の学校と変わった感じはない。	31.5%	23.7%	28.5%	27.0%
(ウ) 平日の授業とは違った学習内容（体験活動等）があってよい。	28.7%	36.4%	20.8%	15.8%
(エ) 午前中に、塾や習い事に行けなかったり、部活動やスポーツ少年団などの活動ができなかったりして困る。	11.5%	10.7%	20.3%	23.0%
(オ) 疲れるので、土曜日の授業がない方がよい。	40.6%	35.2%	65.2%	61.1%

(19) これからの「土曜日の授業」では、どんなことがしたいか。（複数選択）

	小学校		中学校	
	H27	H28	H27	H28
(ア) 普段の授業でわかりにくいところを教えてほしい。	24.7%	22.5%	34.1%	29.1%
(イ) 普段の授業よりも発展的な学習がしたい。	28.2%	39.6%	16.7%	17.1%
(ウ) 何かを作ったり、体験したりするような学習がしたい。	77.7%	64.0%	58.0%	52.5%
(エ) 集会や学校行事があればよい。	31.5%	23.8%	34.1%	33.1%

保護者アンケート結果の概要（※土曜授業推進事業実践推進校対象に実施）

(20) 土曜日の授業について、お子様はどう思っていると感じるか。（複数選択）

	小学校		中学校	
	H27	H28	H27	H28
(ア) 友だちと一緒に過ごせるので嬉しい と思っっているようだ。	48.9%	49.0%	29.2%	25.6%
(イ) 特に、平日と変わった感じはないと 思っっているようだ。	48.8%	41.7%	46.9%	49.1%
(ウ) 平日の授業と違った学習内容があっ てよいと思っっているようだ。	25.5%	27.8%	11.8%	11.9%
(エ) 午前中の習い事やスポーツ活動、部 活動と重なるので困っっているようだ。	12.3%	12.7%	14.8%	15.3%
(オ) 疲れるから土曜日の授業がない方が よいと思っっているようだ。	28.5%	30.5%	37.7%	36.3%

(21) 授業のない土曜日のお子様の過ごし方はどうか。（複数選択）

	小学校		中学校	
	H27	H28	H27	H28
(ア) 家族で過ごす。	74.4%	75.8%	39.8%	43.0%
(イ) 友だちと遊ぶ。	41.0%	44.0%	35.8%	39.2%
(ウ) 一人で過ごす。	4.1%	2.4%	9.5%	10.3%
(エ) 家で勉強している。	10.2%	8.1%	13.7%	15.0%
(オ) 読書をしている。	6.7%	6.1%	5.0%	4.5%
(カ) テレビやスマートフォンなどを見たり、 ゲームをしたりしている。	55.2%	53.4%	47.1%	49.4%
(キ) 家でゆっくり休養している。(特に何 もしていない。)	14.4%	14.4%	20.2%	18.3%
(ク) 地域の行事や活動に参加している。	4.8%	4.9%	1.1%	0.2%
(ケ) 学校外のスポーツの活動をしてい る。	25.4%	22.1%	8.3%	9.8%
(コ) スポーツ以外の習い事や学習塾に行 っている。	11.3%	10.1%	11.1%	11.6%
(サ) 学校で部活動をしている。	—	—	45.7%	42.2%
(シ) 補習に参加するなど、学校で勉強し ている。	0.1%	0.5%	1.2%	0.6%

(22) 土曜日の授業についての考え（複数選択）

	小学校		中学校	
	H27	H28	H27	H28
(ア) 土曜日の授業をもっと充実してほしい。	45.7%	38.6%	42.3%	35.3%
(イ) 土曜日の授業を今後も継続して進めてほしい。	49.0%	52.0%	44.7%	47.0%
(ウ) 学習機会が保障されることで、有意義に過ごせる。	29.5%	31.5%	25.4%	25.6%
(エ) 保護者の参加や地域の協力が得やすくてよい。	—	16.5%	—	10.2%
(オ) 実施するに当たり、説明が不十分であった。	5.6%	3.7%	8.4%	6.7%
(カ) 土曜日の授業をする必要はない。	14.6%	16.4%	18.1%	20.8%

6 土曜日の授業等の成果と課題

<効果的な取組事例>

（土曜日の授業）

○地域と連携した取組

- ・読書の時間の確保やボランティアによる読み聞かせの実施により、読書に対する関心が高まり、読書の習慣が身につく、読む力の向上につながった。
- ・土曜日の授業で、学習支援ボランティアが計5回来校し、個に応じた支援やプリントの丸つけ等学習支援を行った。子どもたちは、ほめられたり認められたりする中で、学習意欲や自己肯定感が高まった。
- ・まちづくり協議会や大学との連携によって、学校独自では行うことが難しい体験を通じた科学的認識を養う理科の授業や、自分の体力や体力づくりへの関心・意欲を高める体育科の授業を行うことができた。
- ・土曜日の授業で、道徳の授業を全学年で公開したことにより、道徳教育について保護者が知る機会となり、学校で取り組んでいる命を大切にする教育等への理解を図ることにつながった。
- ・人権教育、食育等、子どもたちと保護者が一緒に考えたり取り組んだりしてほしいことを土曜日に計画すると、保護者が来校しやすく、参加者が多かった。子どもたちの意欲の向上にもつながった。
- ・土曜日にマラソン大会を実施したことにより、応援の保護者が多く、子どもが精一杯頑張ることができた。

- ・教職員の地域行事への参加等で築いた諸団体との信頼関係が、クラブ活動や農業体験、地域学習の指導などへの地域の方々の参加協力につながった。
- ・地域とともに事業を実施したり、地域に向けて学校行事を公開したりすることにより、地域の方の中学生への信頼が高まり、中学校に協力してくれる大人が増えてきた。
- ・同じ中学校区の3小学校で、中学校の教員による出前授業の後、自分の将来に思いを巡らせ「ドリームマップ作り」を行い、互いに交流したことにより、児童の自己実現への意欲が高まった。【資料：P 1～3】
- ・主権者教育の一環として、町内中学3年生全員による模擬議会を開催し、地方自治に関する理解を深めた。【資料：P 4・5】

○教育課程の工夫

- ・土曜日の授業で文化的行事や体力テストを実施したことで、余裕をもって行事等の運営を進めることができた。
- ・年間を通じて休日が多かった曜日の授業や、学校行事等の準備や練習のために実施できなかった授業を土曜日の授業として実施したことで、授業時数の確保につながった。
- ・定期テストの3時限後に行っていた授業3時限を、土曜日の授業で行うなどの工夫により、生徒の授業への集中力を高めることにつながった。

(土曜の課外授業)

- ・中学校において、希望者を対象に高校の教員や生徒と連携して、補充学習を行ったことが、生徒の学習意欲の向上につながった。
- ・文化祭や地域の行事での発表に向けた太鼓の練習や、田植え、稲刈り、収穫したもち米を使ったもちつき体験等を実施したことで、地域とのつながりが深まった。
- ・外国につながる児童を対象に、学校図書館でボランティアとともに補充学習を行い、教科だけでなく、日本語の学習の場とすることもできた。

(土曜学習)

○補充学習

- ・市（地域福祉課）の学習支援事業により、中学校3校で、地域住民・退職教員等が指導者になり、学習教室を開催した。経済的な家庭事情により家庭での学習が困難な生徒の学力保障につなげることができた。
- ・地域未来塾の取組として、まちづくり協議会（コミュニティ・スクール連携）が主体となり補充学習を行うことで、基礎学力の定着と学習意欲の向上につなげることができた。
- ・退職校長の有志が「土曜塾」を立ち上げ、中学生を中心に学習支援の場を提供している。個別指導により一人ひとりに行き届いた教育が実現している。

○体験活動

- ・教育委員会主催の「土曜チャレンジスクール」として、月1回程度小学生を対象とした学習を実施している。また、教育委員会主催の「ホリデー教室」として、月2回程度小学生を対象とした体験学習（工作・調理など）も実施している。参加児童の基礎・基本の定着や活用力の育成など、豊かな学びにつながっている。【資料：P6・7】
- ・市教育委員会社会教育課から委託を受けた地域の文化サークル等から、陶芸や布花づくり、菓子づくりなどを学びながら、様々な世代間の交流をすることができた。
- ・町教育委員会生涯学習課が実施している「こどもいきいき学園」で、スポーツ、調理教室、磯体験など、子どもたちの体験を通じた楽しい学びの場となっている。

<主な課題と取組>

①週休日の勤務を同一週へ振り替えることが難しい。

（課題に対する取組）

- ・平成28年度は、振替状況と取組に係る調査を年2回実施・分析し、効果的な取組について情報提供を行いました。
- ・平成29年3月に、振替率の高い学校の効果的な振替方法をより具体的に紹介するとともに、同一週の振替の対象の明確化を図るため、土曜日の授業に係る文書を発送しました。
- ・今後とも土曜日の授業の同一週の振替について、市町等教育委員会を通じた働きかけを行い、取組状況を確認していきます。

②土曜日の授業の実施に当たっては、地域行事、社会教育団体及びスポーツ関係団体との調整が進められているが、特にスポーツ関係団体との調整については、なお難しさがある。

（課題に対する取組）

- ・平成29年度より、土曜日の授業を実施するに当たっては、県内の全市町等教育委員会が所管する学校において、原則第3週に実施されることになりました。
- ・土曜日の授業の実施に当たっては、継続的に地域や関係団体等に説明し理解を得るとともに、取組の成果や課題の把握に努め、必要に応じて改善を図ることが大切です。
- ・県教育委員会としても、スポーツ関係団体に一層協力を得られるよう、大会等への日程調整について継続的に働きかけを行っていきます。（平成28年度に、県教育委員会から県体育協会へ日程調整について働きかけを行い、平成29年度には、県内開催のスポーツ少年団の大会日程について調整が図られました。）